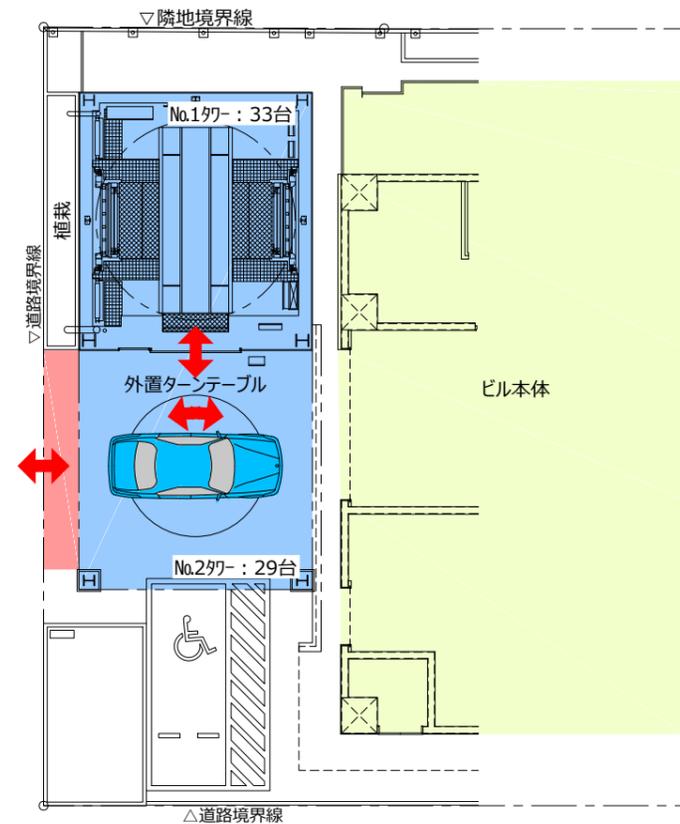
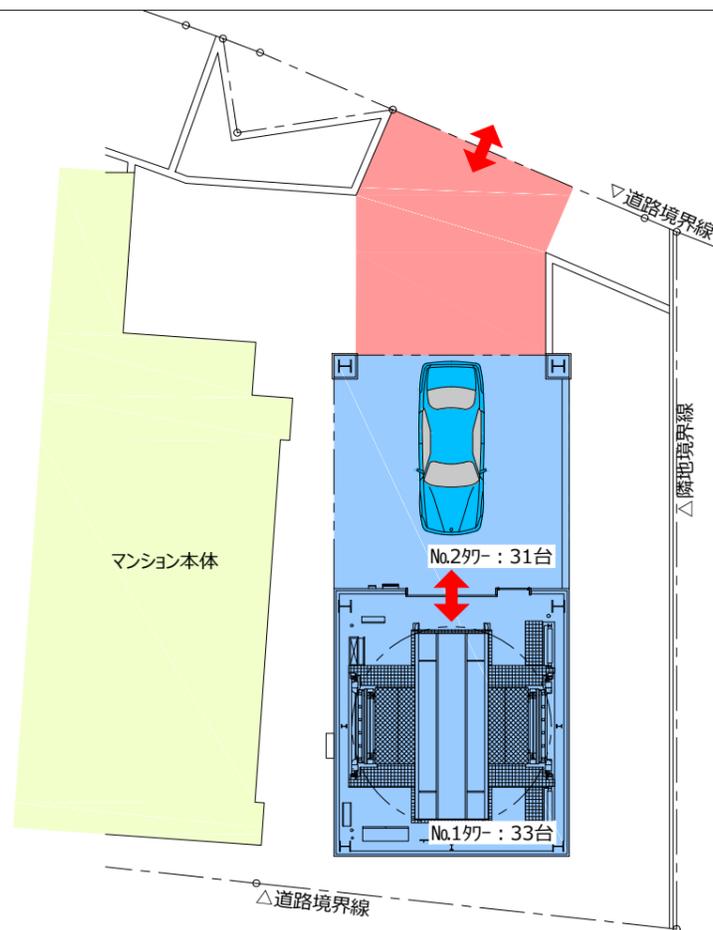


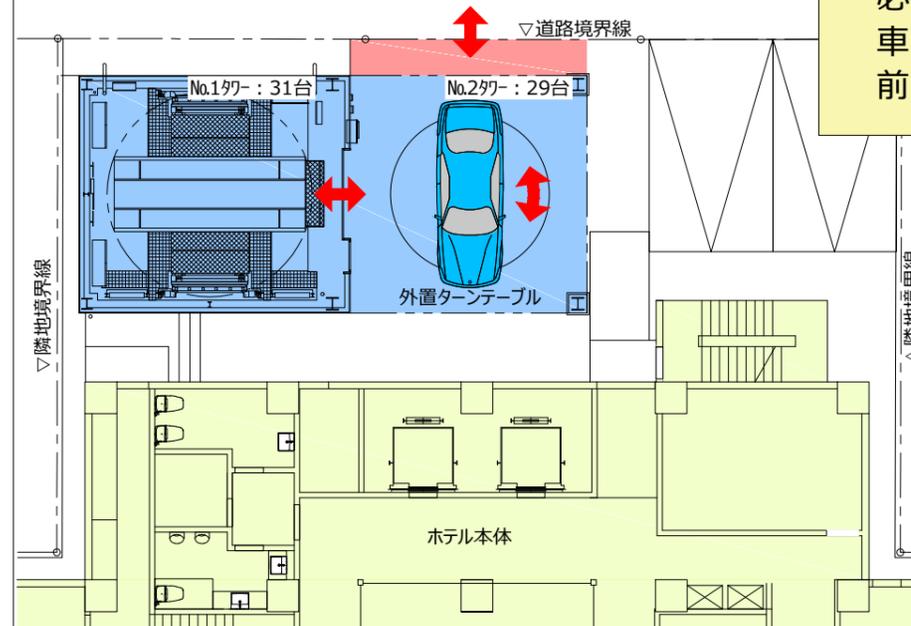
●ポイント●  
 収容台数と使い勝手を考えて、  
 車は側面から入庫し、正面から  
 出庫する方法としました。



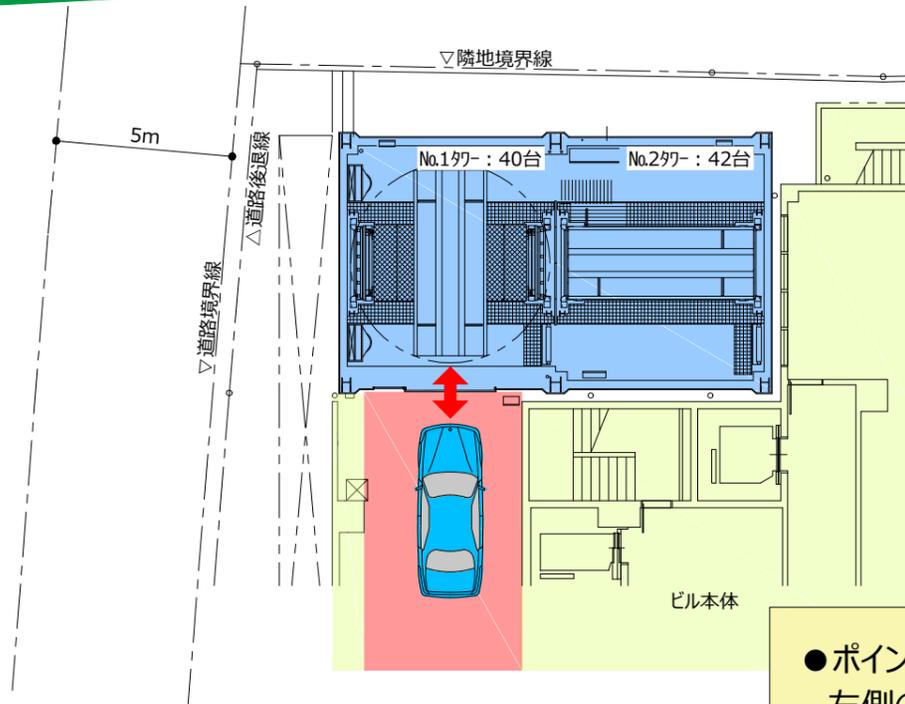
●ポイント●  
 ビル本体計画の都合から標準モデルの並列  
 配置ができません。  
 前面空地利用モデルと外置ターンテーブルを  
 組み合わせることにより、解決しました。



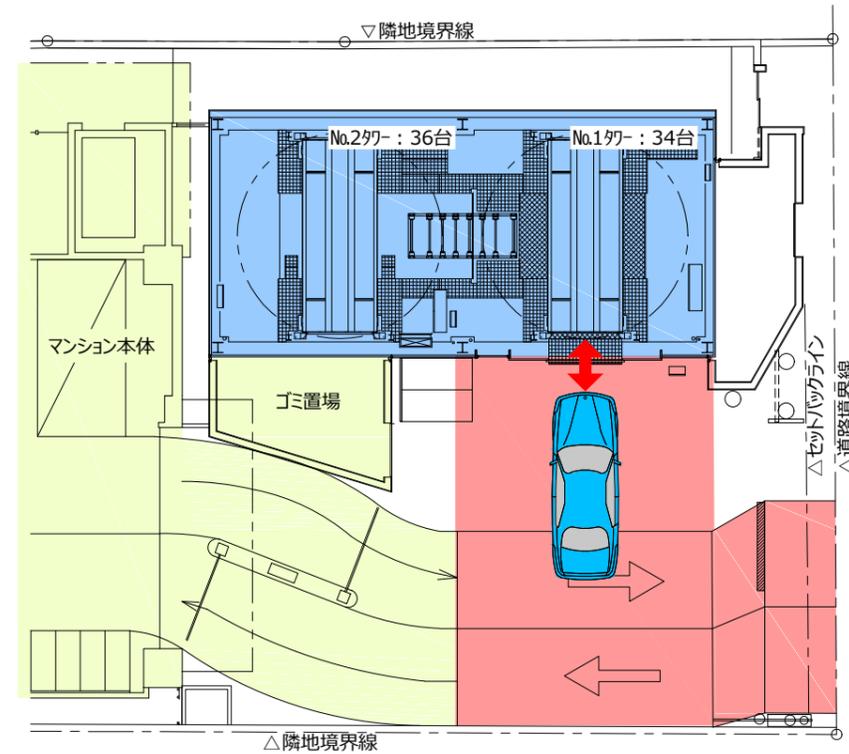
●ポイント●  
 縦列モデルが配置できない敷地でも、  
 前面空地利用モデルを採用することで、  
 収容台数も確保できました。



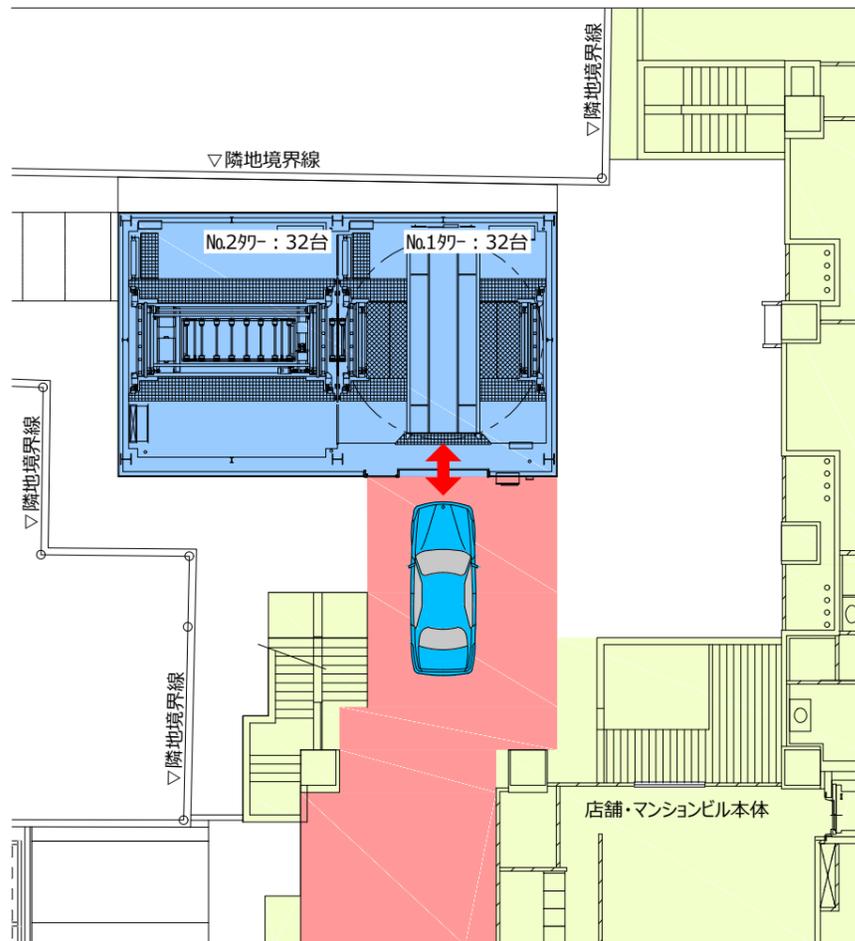
●ポイント●  
 凸形の敷地の南側は横長のホテルで、  
 正面玄関は表通りに面している  
 必要がありました。  
 車は裏通りからの出入しかなく、  
 前面空地を確保しつつ設置できました。



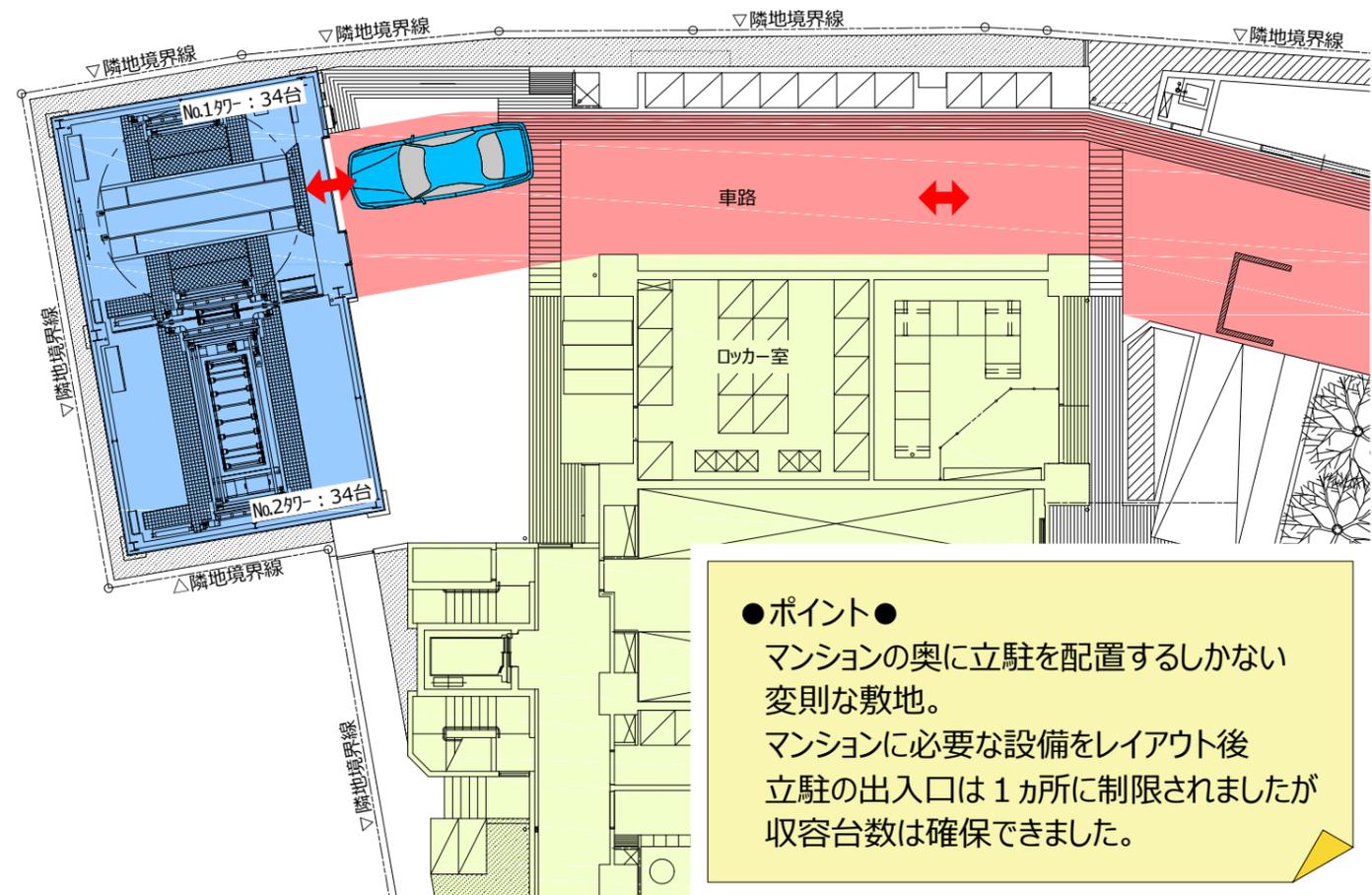
●ポイント●  
 左側の道路幅員が立駐出入口に使えず、ビル本体の下をくぐって立駐に入庫。1階は極力ビル面積を増やしたいため出入口は1ヶ所に限定し、収容台数も確保できました。



●ポイント●  
 ゴミ置き場を立駐の前に設置するしかなく出入口を1ヶ所にしました。



●ポイント●  
 変則的な敷地の奥に立駐を配置。ビル本体の下をくぐって入庫。レイアウト上出入口は1カ所でも収容台数は確保できました。



●ポイント●  
 マンションの奥に立駐を配置するしかない変則な敷地。マンションに必要な設備をレイアウト後立駐の出入口は1カ所に制限されましたが収容台数は確保できました。

●ポイント●  
敷地と建物レイアウトの関係で、真っすぐに入出庫しにくい場合、車の出入り可能な方向にパレットを合わせ、斜めに配置することにより運転者の負担を少しでも軽減することができました。

